

令和5年10月吉日

教 育 関 係 機 関 長 殿
国立大学法人附属学校園長 殿
愛知県立・名古屋市立高等学校長 殿
関 係 私 立 高 等 学 校 長 殿
関 係 中 学 校 長 殿

愛知教育大学附属高等学校
校 長 西牟田 哲哉

令和5年度愛知教育大学附属高等学校 第41回高校教育シンポジウムの開催について

秋涼の候 関係の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は、本校の教育活動につきまして、ご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、11月8日（水）に別紙の時程で第41回高校教育シンポジウムを開催します。研究
主題は、「これからの時代を生きるための資質・能力の育成—探究力とICT—（2年次）」
です。本年度をもって、全学年30人×4クラス体制がそろい、探究力を育成すべく、少人
数の手厚い指導を心がけています。総合的な探究の時間を核として、新しい教育課程を意識
した学校づくりに邁進しています。また、教室の黒板をホワイトボードに変え、プロジェク
ターを常設し、Wi-Fi環境に支えられたICT教育のあり方を日々工夫しております。

第2年次の今回は、地歴公民科、外国語（英語）科、総合的な探究の時間の3分野で、シ
ンポジウム（公開討論会）を行います。地歴公民科、外国語科（英語）は研究授業も実施し
ます。さらに、5限～6限には、それらに先だって、あるいは並行して、ほかの多くの教科
の授業も参観できるよう、公開しております。教科・校種を問わず、是非多くの方々の参加
をお待ちしております。どうかよろしくお願い致します。

令和5年度 愛知教育大学附属高等学校

第41回 高校教育シンポジウム

研究主題

これからの時代を生きるための資質・能力の育成 –探究力とICT–
(2年次)

【期 日】 令和5年11月8日(水) 【会 場】 愛知教育大学附属高等学校
【主 催】 愛知教育大学附属高等学校 【後 援】 愛知県教育委員会

【日 程】

12:30	13:00	13:15	13:25	14:15	14:30	15:20	15:30
シンポジウム 受付	開会行事	移動	5限 公開授業	移動	6限 公開授業	移動	分科会 アンケート 回収

【シンポジウム対象授業】

第5限 13:25～14:15

分科会	科目名	実施学年	授業者
第2分科会 外国語(英語)科	論理・表現Ⅰ	1年	川上佳則

第6限 14:30～15:20

分科会	科目名	実施学年	授業者
第1分科会 地歴公民科	日本史探究	2年	青山昌平
第2分科会 外国語(英語)科	論理・表現Ⅱ	2年	宮本真衣

分科会 15:30～

【分科会共同研究者・問題提起者】

分科会	共同研究者	問題提起者	テーマ
第1分科会 地歴公民科	愛知教育大学社会科教育講座 准教授 真島 聖子	青山昌平 小田原健一 山本真生 伊吹憲治 村田拓也	歴史教育における公民としての 資質・能力の育成 —抑圧や差別に関する歴史を 学んだ生徒の変容—
第2分科会 外国語(英語)	愛知教育大学外国語教育講座 教授 田口 達也	川上佳則 宮本真衣 加古久光 有本明日翔 平岩加寿子	論理・表現の授業における話すこと 「やり取り」の評価と質問力の育成 に関する実践
第3分科会 総合探究		足立達彦 小田原健一 有本明日翔	附高ゼミの年次進行と各学年の 取り組みについて

【公開授業一覧】

	学年	組	実施教室	教科	授業概要
5 限	1年	1	1-1 教室	歴史総合	帝国主義とアジア・アフリカの変容
		2	1-2 教室	言語文化	古文「土佐日記」
		3	1-3 教室	論理・表現 I	シンポジウム対象授業/概要は次頁
		4	生物教室	科学と人間生活	繊維判別実験
	2年	1	2-1 教室	化学	気体の法則
		2	2-2 教室	数学B(文)	統計的な推測
			ゼミB	生物(理)	進化のしくみ
		3	2-3 教室	地理総合	産業の発展と生活文化
4	2-4 教室	古典探究	史記		
6 限	1年	1	1-1 教室	保健	薬物乱用と健康
		2	1-2 教室	言語文化	古文「土佐日記」
		3	CS 教室	情報	情報デザインの実践(Web ページ)
		4	生物教室	科学と人間生活	繊維判別実験
	2年	1	2-1 教室	論理国語	生命倫理と自由
		2	スタジオ	論理・表現Ⅱ	シンポジウム対象授業/概要は次頁
		3	2-3 教室	世界史探究	西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成
		4	社会科教室	日本史探究	シンポジウム対象授業/概要は次頁

【シンポジウム分科会会場】

分科会	科目名	授業者	司会者	分科会会場
第1分科会 地歴公民科	日本史探究	青山 昌平	愛知教育大学附属高等学校 伊吹 憲治	社会科教室
第2分科会 外国語(英語)	論理・表現 I	川上 佳則	愛知県立高蔵寺高等学校 石鍋 圭一	スタジオ
	論理・表現Ⅱ	宮本 真衣		
第3分科会 公開授業			愛知教育大学附属高等学校 足立 達彦	合併教室

【分科会研究主題】

第1分科会 地歴公民科

歴史教育における公民としての資質・能力の育成 —抑圧や差別に関する歴史を学んだ生徒の変容—

平成30年に告示された学習指導要領で「日本史探究」の目標は「…国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされた。また、大項目D(4)「現代の日本の課題の探究」への接続では、①社会や集団と個人 ②世界の中の日本 ③伝統や文化の継承と創造が学習テーマとして設定されており、その中で「歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解すること」が学習すべき内容の一つとして設定されている。指導要領に定められたこれらの内容から、目標の「公民としての資質・能力」と大項目Dの「歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する」に注目した「日本史探究」の授業開発を試みた。特に、「抑圧や差別」に関する日本史の学習を行い、その中で生徒が歴史を学ぶ意義や現代の社会課題への認識などがどのように変化していくかを調査する。

また、この学習では、ICTを活用した他者との対話の充実を目指した。特にグループ協議でiPadを活用してまとめの作成や共有を行うことで、生徒が理解を深め、認識を広げることが可能か検討した。

第2分科会 外国語(英語)科

論理・表現の授業における話すこと「やり取り」の評価と質問力の育成に関する実践

令和4年度から新設された「論理・表現」の授業において、本校では4技能のうち、「話すこと」の「やり取り」活動に焦点を当てて取り組んできた。私たちはこの「やり取り」活動はその指導と評価をパッケージで実施する必要があると考え、1年生の「論理・表現Ⅰ」において、その実施方法と評価手段を試行錯誤してきた。対話活動をペアではなく、トリオで行い、生徒間評価の信頼性を高めて活動の客観性を高めることによって、表現力と発信力の育成に寄与できるか調査・実践する。

2年生の「論理・表現Ⅱ」は、「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化するための指導を発展的に行う科目である。しかし、従来の英語教育においては、「答えること・発表すること」ばかりに重きを置いてしまっている。相手の答えを引き出す「質問する力」が育たなければ、相手とやり取りすることはできない。そこで、「質問する力」を育成するためには、どんな活動を取り入れる必要があるのかを調査し、実践する。

【第3分科会 内容紹介】

第3分科会 探究活動「附高ゼミ」

本校では、「人生を切り拓く探究力」の育成を目標とし、「主体的に学び続ける力」、「他を受け入れ協働する力」、「新たな価値を創造する力」の3つの力を育む取り組みを学校活動全体で行っている。特に、総合的な探究の時間において、学年ごとに様々な活動に力を入れている。1年次には、探究の基礎基本の習得をベースに、自己探究、学問探究、地域探究に力を入れている。2年次には、SDGsをテーマに、自身の興味関心をもとにした探究活動を実施している。その後、2年次の9月から3年次の9月までの1年間をかけた探究活動である「附高ゼミ」に取り組む。「附高ゼミ」では、生徒主体の探究活動を行い、これまでに各教科、総合的な探究の時間で身に付けた知識や技能を発揮しながら活動を進めている。また、本校の強みでもある、大学の敷地内にあるという立地を生かした高大連携にも取り組んでいる。

シンポジウム当日には、「附高ゼミ」について3年生による一年間の探究を終えた振り返り、2年生による探究活動の現状を報告し、1年生の自己探究、学問探究、地域探究について紹介させていただく。本校での各学年の活動報告を中心に、他校での取り組みや課題を共有しつつ議論していきたいと考えている。

【本校へのアクセス】

- (1) 名鉄名古屋本線知立駅から名鉄バス(①番のりば)
愛知教育大前行き、日進駅行き、又はイオン三好店アイモール前行きにて 20 分
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分
- (2) 名鉄豊田線日進駅から名鉄バス知立行きにて 25 分
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分
- (3) JR東海道本線刈谷駅から名鉄バス愛知教育大前行きにて 35 分
(本数が少ないので、時刻表でご確認願います。)
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分



【その他】

- (1) 申し込み後、変更が生じた場合には、メールで担当へお知らせください。
- (2) お車で越越しの際は、大学南門横の大学構内駐車場をご利用ください。駐車時には同封しました駐車許可証をダッシュボードの外から見えやすいところに掲示してください。なお、複数枚必要な場合は、お手数ですがコピーをお願いします。
- (3) 感染拡大防止の観点から、やむを得ずオンラインに切り替えざるを得ない場合もございます。緊急の場合につきましては、申しいただきました連絡先にメールさせていただくと共に、本校ホームページでもお知らせいたします。ご容赦ください。

お申し込みはこちらのQRコードから



<https://forms.gle/MR2aEZVopR156XCA6>

申込締め切り
10月30日(月)

担 当 研究主任 (川瀬)
Tel (0566) 36 - 1881 / FAX (0566) 36 - 1883
メール admin-hs@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
本校HP <http://www.auehs.aichi-edu.ac.jp>